



河川景観に配慮した護岸ブロックの技術講習会 ～現場で多用される護岸ブロックの改良について～

平成28年 **8月5日** (金)

午前の部 **10:00～12:00** (9時半～受付)

午後の部 **13:30～15:30** (13時～受付)

※午前の部と午後の部の講習は同一プログラムです。

**参加
無料**

会場：水辺共生体験館（自然共生研究センター隣）

住所：岐阜県各務原市川島笠田

対象：国・自治体の河川管理者、建設コンサルタント・ブロックメーカーの技術者
(会場の都合上、数に限りがございますので、誠に勝手ながら先着順とさせていただきます)

※野外講習があります。熱中症対策をお願い致します。

平成26年に「美しい山河を守る災害復旧基本方針」が改定され、河川景観に関する具体的な留意事項が示されました。この留意事項のうち、明度の評価方法は定量化されており、現場への普及が進んでいます。一方で、明度以外の留意事項に関しては定性的な表現となっているため、普及に支障をきたしています。そこで、(国研) 土木研究所自然共生研究センターは実験河川において、河川景観に関する留意事項に配慮した護岸ブロックのプロトタイプの実験を行いました。本講習では、展示した護岸ブロックを見て、触れていただき、護岸ブロックの景観配慮の方法についてより深く、分かりやすくお伝えします。皆様のご参加お待ちしております。

主催 国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター

共催 公益社団法人 全国土木コンクリートブロック協会

申込/お問合せ 国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター

TEL:0586-89-6036, E-mail:kyousei4@pwri.go.jp

プログラム

屋内講習

- ① 護岸が露出した場合の河川景観・自然環境の保全について 国立研究開発法人土木研究所 萱場 祐一
- ② 護岸法面部の留意事項の解説 (公社) 全国土木コンクリートブロック協会

野外講習（護岸ブロックの展示会場）

- ③ 美山河に対応した護岸ブロックの改良と工夫 (公社) 全国土木コンクリートブロック協会

参加申込書 E-mail : kyousei4@pwri.go.jp

必要事項を記入の上、上記宛にE-mailをお願い致します。(国研) 土木研究所自然共生研究センター
午後の部は混雑が予想されます。近隣の方は午前中にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

午前の部(50名程度) (10:00~12:00)

午後の部(50名程度) (13:30~15:30)

※参加希望の部どちらか一方に○をお願い致します。

参加者氏名	所属	連絡先(TEL)	E-mail

アクセス

車でお越しの際

- 東海北陸自動車道川島PAハイウェイオアシスより徒歩約1分。
- 名古屋方面から、国道22号を北上、新木曽川橋を渡ってすぐ左側道へ、つきあたりを右折 約2km先を右折、西口駐車場へ。
- 岐阜方面から国道21号を各務原方面へ「三宅」を右折、「米野」を左折、約1.2km先を右折 東口駐車場へ。

公共交通機関を利用した場合

- 名鉄笠松駅からタクシーで約10分
(河川環境楽園西口駐車場とお伝えください)
- 名鉄新岐阜駅前より、岐阜バス川島松倉行きで約25分。
「川島笠田」下車、徒歩約15分。

